

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1120	一般事務経費	01	01	一般会計
基本施策	34	だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	10	10	教育費
			06	06	保健体育費
			01	01	保健体育総務費
担当部課名	教育委員会 伊賀分室		101	101	一般事務経費
作成者氏名	藤岡雅之	連絡先	45-9166	01	一般事務経費
			細々目	01	一般事務経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	スポーツ振興のための事務の執行	体育指導委員を通じ市民のスポーツ活動の促進と交流が図られる
本年度事業内容	委員報酬、事務経費の執行	
根拠法令・要綱等	スポーツ振興法	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	371	384	384
	委託料			
	報酬	269	269	269
	その他	102	115	115
合計(A+B)		1,091	1,104	1,104
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源		1,091	1,104	1,104
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
体育指導委員会による事業回数	回	48	48	48			

情勢の変化及び事業の改善点等

ライフスタイルの多様化などにより、ニーズを把握することが困難になってきている。傾向としては、少人数で楽しめるニュースポーツの普及が中心となってきている。生涯スポーツの推進という観点から多様なスポーツを紹介していきたい。普及を行ってきた経過の中ではグランドゴルフは多くの愛好者がおり、自主的な活動もされている。このような展開がされるような種目を模索することが今後の課題といえる。

評価	達成度	2	ニーズに対応した達成度は計り知れないが、効率性については、参加者数に反映されると考えられることから、今何を市民がしたいのか、望んでいるのか、地域総合型スポーツクラブの設立と今後の運営のあり方と平行して求めていきたい。
	効率性	3	